

# 接続

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。  
別売り品の仕様についてはカタログをご覧になるか、お買い上げ店にご相談ください。

カーアンテナプラグの形状がリレーボックスのジャックに合わない場合は、下記のように接続してください。  
日産車の場合  
別売りのアンテナ変換コードXA-82が必要です(車種によりアンテナの端子の形状が異なる場合があります)。

欧州車の場合  
別売りのアンテナ変換コードRC-185が必要です(車種については、お買い上げ店にご相談ください)。

アメリカ車の場合  
別売りのアンテナ変換コードRC-150GMが必要です(車種については、お買い上げ店にご相談ください)。

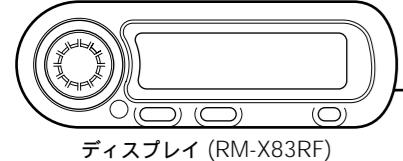
スピーカー  
カーオーディオ  
アンテナコネクター  
0.5m

カーオーディオがダイバーシティアンテナの場合は、下記のように接続してください。  
トヨタ車の場合  
大きい方のアンテナコネクターと接続してください。

日産車の場合  
別売りのアンテナ変換コードXA-82が必要です(車種によりアンテナの端子の形状が異なる場合があります)。

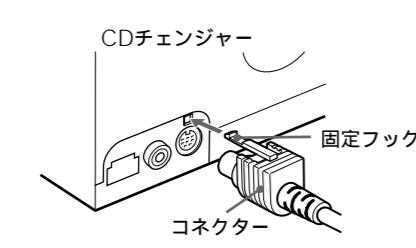
欧州車の場合  
別売りのアンテナ変換コードRC-50が必要です(車種については、お買い上げ店にご相談ください)。

アメリカ車の場合  
別売りのアンテナ変換コードRC-160GMが必要です(車種については、お買い上げ店にご相談ください)。



## ディスプレイコネクターの接続についてのご注意

図のようにコネクター固定フック  
がCDチェンジャーの穴にしっかりと  
はまるように、コネクターを接  
続してください。



## 電源コードの接続について

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、製品の破損の原因となります。

## 電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリー(ACC)電源入力コード 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。
黄色コード	バッテリー(BAT)電源入力コード 車のキーに関係なく常時通電しているところで、ヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。ディスプレイのOFFボタン、リモコンのOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。

## ヒューズ

電源コードの中間にヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。

## ! 警告 安全のために

### 警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**△警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**△注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



### ! 警告 火災・感電による死亡や大けがの原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する  
本機の取り付けには専門知識が必要です。万一、自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



取り付け、接続作業をするときには、イグニッションスイッチをOFFにするか、キーを抜いておく  
イグニッションスイッチをONにしたまま作業をすると、バッテリー上がりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの原因となります。



### 24V車に使用しない

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。  
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24Vで使用すると火災などの原因となります。



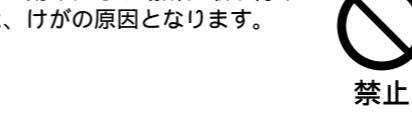
### パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。



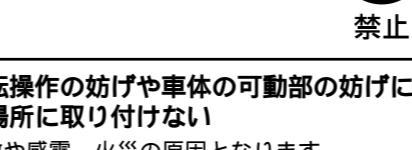
### エアバッグシステムの動作の妨げになる場所に取り付けない

動作の妨げになる場所に取り付けると、けがの原因となります。



### 車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、次の部品を使うと、制動不能による事故や火災の原因となります。



### 運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けない

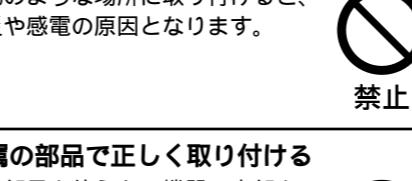
事故や感電、火災の原因となります。  
次のことをお守りください。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



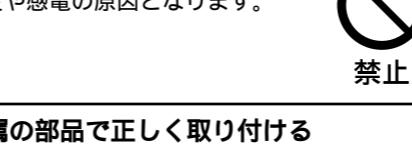
### 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。  
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



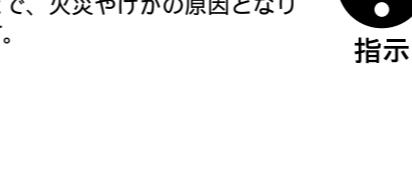
### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、ヒューズに記された規定容量のアンペア数のものを使いください。  
規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



### 前方の視界を妨げる場所にディスプレイを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



### ! 注意 下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

不安定な場所に取り付けない  
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



SONY®

## コンパクトディスク チェンジャーシステム

### 取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

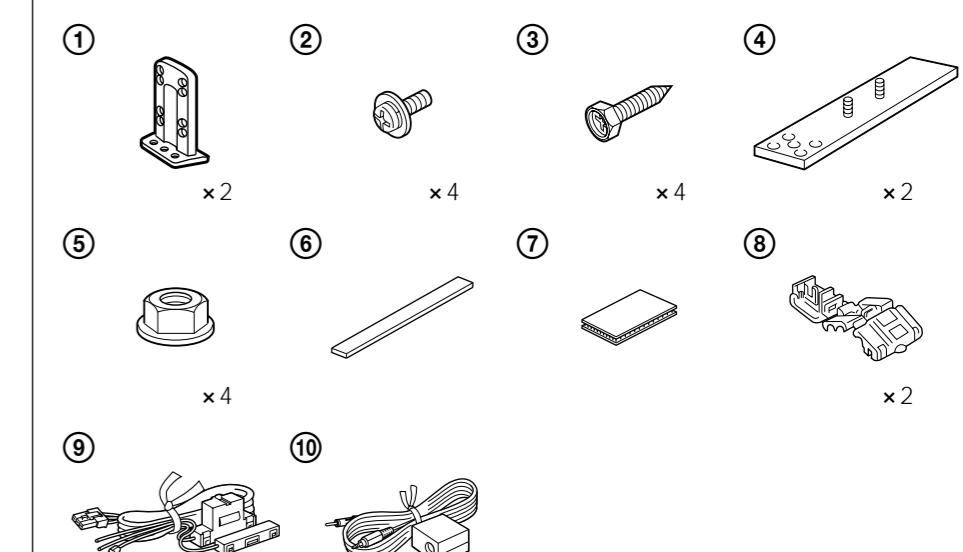
**△警告** 本機は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。  
この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CDX-565MXRF

© 2003 Sony Corporation Printed in Thailand

### 取り付け部品の確認(付属品)



### ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内(FAX電話でご利用になります)

カーフィッティングFAXサービス 車両メーカー、車種・車輪形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料  
① インデックス入手手 / 03-3552-7209 車両メーカー別のBOX番号を受信  
② 資料請求手 / 03-3552-7488 アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。  
• ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。  
• FAXサービスのメンテナンス日は毎月第2木曜日 午前8:00 - 午後11:00となっております。  
ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。  
(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

### 商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

### お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ..... 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料ご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311 (ナビダイヤルご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX ..... 0466-31-2595

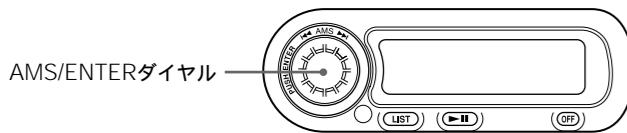
受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00  
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

## 送信周波数を設定する

本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、本機で設定している(本機からFMチューナーへ送信する)周波数と同じ周波数のFM放送があると、CD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機の送信周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。

### ディスプレイで操作するには



1 AMS/ENTERダイヤルを周波数が表示されるまで2秒以上押す。

2 AMS/ENTERダイヤルを回して、周波数を選ぶ。

右へ回すたびに周波数は次のように切り換わります。  
88.3MHz → 88.5MHz → 88.7MHz → 88.9MHz → 89.1MHz → 89.3MHz →  
89.5MHz → 89.7MHz → 89.9MHz → 88.3MHz

左へ回すと逆順に表示されます。

3 最後にAMS/ENTERダイヤルを2秒以上押す。

### リモコンで操作するには

以下のボタンを押して同様の操作ができます。

1 ENTERボタンを周波数が表示されるまで2秒以上押す。

2 +または-ボタンを繰り返し押して、周波数を選ぶ。

3 最後にENTERボタンを2秒以上押す。

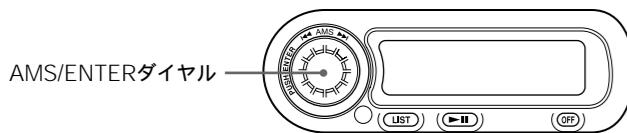
#### ご注意

- 本機の送信周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録(プリセット)する周波数も変えてください。
- 停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を作動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶▶ボタンを押してください。

## 出力レベルを設定する

FMチューナーの入力レベルに合わせて本機の出力レベル(LEVEL 1~5)を設定できます。ふつうは初期値(LEVEL 3)で使用しますが、必要に応じて調整してください。

### ディスプレイで操作するには



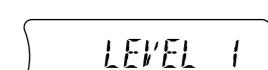
1 AMS/ENTERダイヤルを2秒以上押す。

2 もう一度AMS/ENTERダイヤルを短く押す。

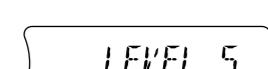


3 AMS/ENTERダイヤルを回して、出力レベルを選ぶ。

左へ回すとレベルが低くなります。



右へ回すとレベルが高くなります。



4 最後にAMS/ENTERダイヤルを2秒以上押す。

### リモコンで操作するには

以下のボタンを押して同様の操作ができます。

1 ENTERボタンを2秒以上押す。

2 もう一度ENTERボタンを短く押す。

3 +または-ボタンを繰り返し押して、出力レベルを選ぶ。

4 最後にENTERボタンを2秒以上押す。

# 取り付け

## 取り付け場所

次のような場所に取り付けないでください。

### ディスプレイ、リモコン

- 運転の妨げになるところ
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになるところ

### CDチェンジャー、リレーボックス

- 温度が55度以上になるところ

- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ

- 雨が吹き込むところなど、水がかかるところや湿気の多いところ

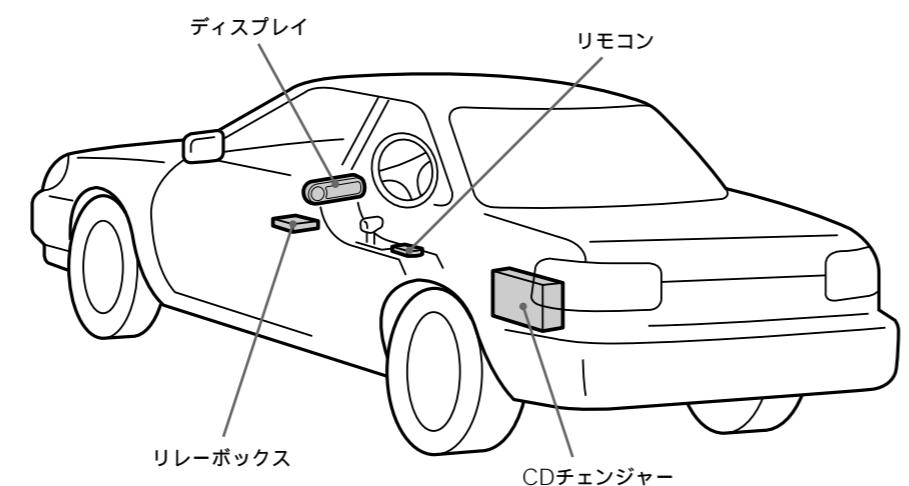
- ほこりの多いところ

#### ご注意

- しっかりした取り付けのできない振動の多いところ

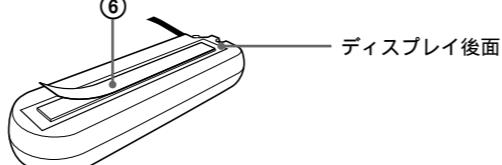
- 配線コードやパイプが下を通っているところ

- トランク内またはトランク下にあるスペアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ



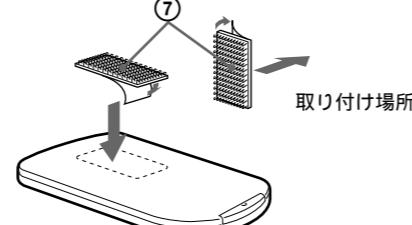
## ディスプレイの取り付け

貼り付ける場所をきれいにしたあと、両面テープ⑥を使って運転の妨げにならない見やすい位置に取り付けます。



## リモコンの取り付け

貼り付ける場所をきれいにしたあと、面ファスナー⑦を使って運転の妨げにならない位置に取り付けます。



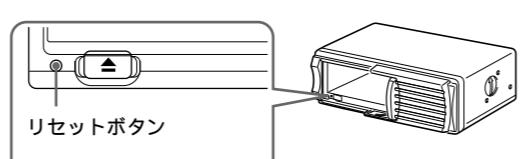
#### ご注意

取り付け場所を決める前に、その場所からリモコンでシステムが操作できることを確認してください。

## 取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめてください。

- 必ず、CDチェンジャーのリセットボタンをつま楊子の先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因になります。

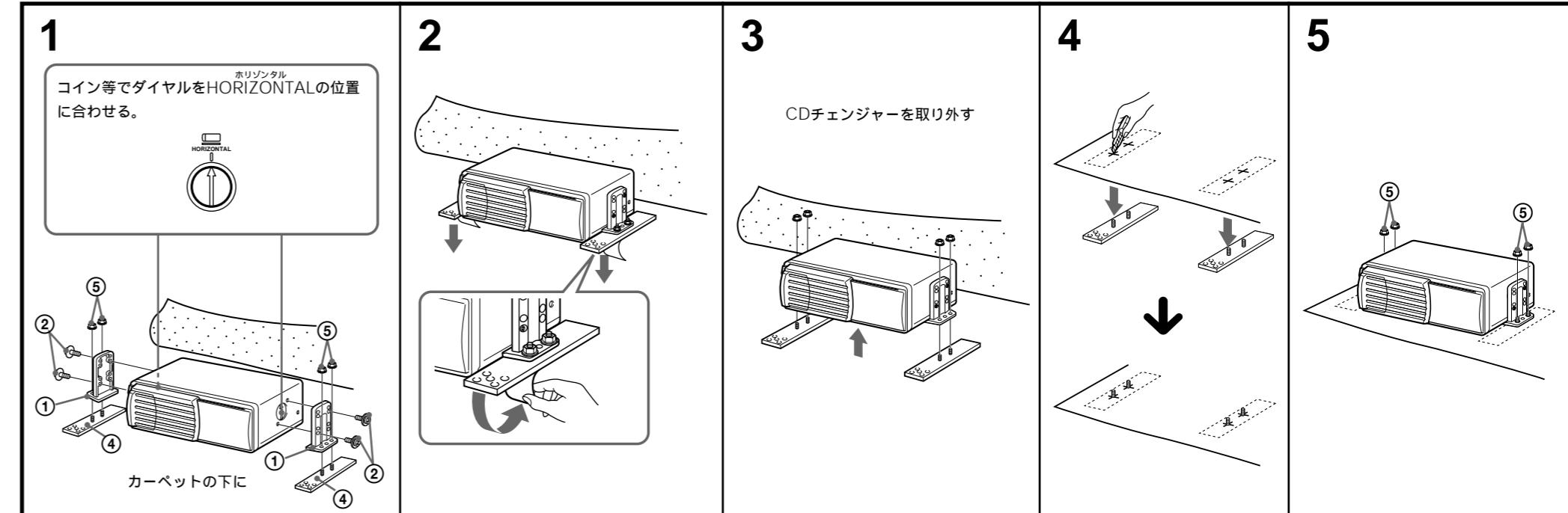


• 故障かな?と思った場合は、接続をもう一度確認するとともに、取扱説明書の「故障かな?」をご覧ください。

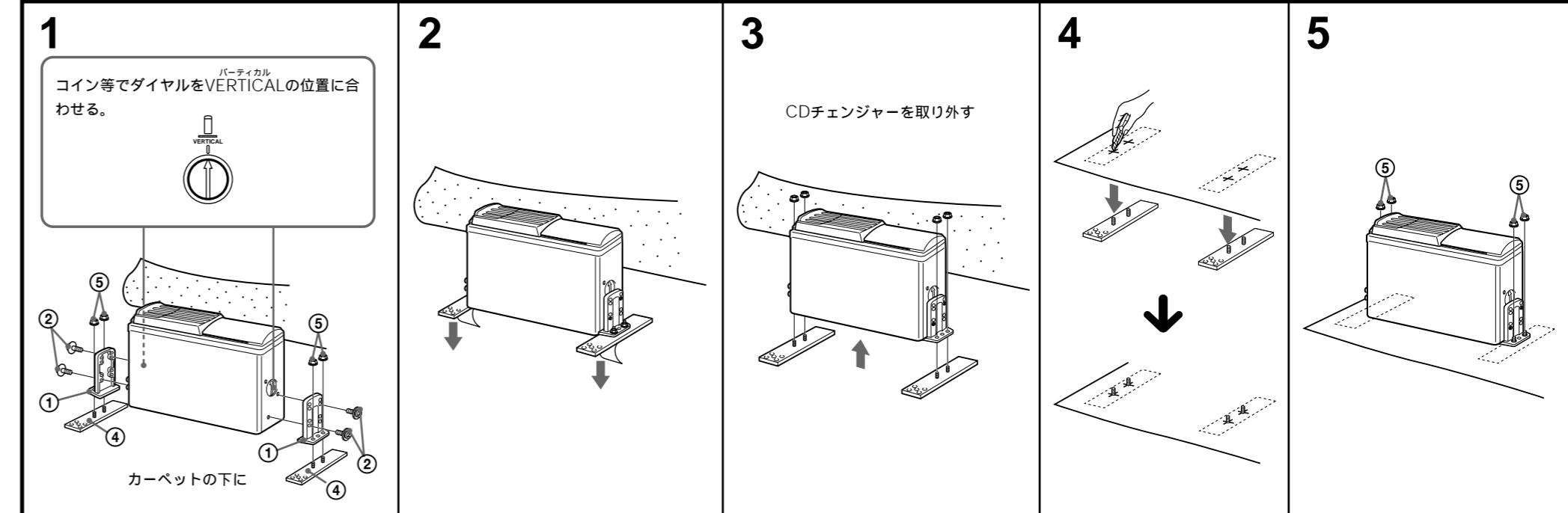
## CDチェンジャーの取り付け

取り付け板①により、取り付け高さを2段階に選択できます。お好みに合せてお使いください。

横に置いて取り付ける場合



たてに置いて取り付ける場合

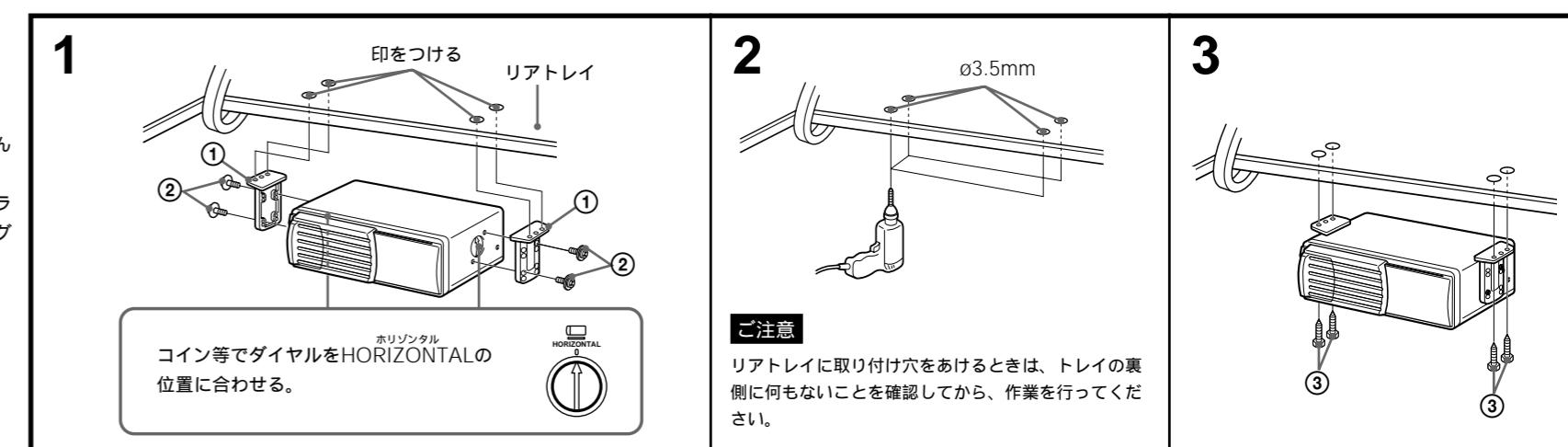


吊り下げる取り付ける場合

トランクリームのアリートレイ等に吊り下げる取り付ける場合、以下の点にご注意ください。

- 本体が水平に取り付けられる場所を選んでください。

- トランクリッドの開閉時に、本体とトランクリッドのトーションバースプリングが接触しない場所を選んでください。



傾斜のあるところに取り付ける場合

左右のダイヤルには5段階の目盛りがあります。本体を取り付けたときにダイヤルの矢印が地面に対して垂直に近くなるように合わせてください。

#### ご注意

左右のダイヤルの矢印は、必ず同じ位置の目盛りに合わせてください。

